

担当教員授業題目		生物科学野外実習Ⅱ（静岡大学）				担当教員	徳岡 徹
英文授業名		Exercise in Field Biology				副担当教員	
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	時間外	対象学年	3
授業形態	実習	備考	計5日（理学部天城フィールドセミナーハウス4泊）				
(1) 授業のねらい 野外での様々な植物種や植物群落の特徴を理解する。 （キーワード：富士山、天城山、照葉樹林、亜高山帯、高山植物、ブナ林、海岸植物、環境保全） (2) 授業の概要 静岡大学周辺には海岸から高山まで様々な環境が存在し、それに応じて様々な植物種や植物群落が存在している。この実習では、できるだけ多くの植物に触れ、その多様な形態や生態を観察し、植物と環境の関係をより深く理解することを目的としている。フィールドは主として富士山と伊豆半島天城山を対象とする。実習施設として理学部附属の天城湯ヶ島フィールドセミナーハウスを利用し、採取・標本の作成を行う。 (3) 授業計画 7月中旬にガイダンスを行い、野外での実習は9月中旬に行う。野外では以下の場所で植生や植物相の観察、植物採集、標本の作製を行う。 1. 富士山の山地林（スギ・ヒノキ林、照葉樹林） 2. 富士山の夏緑林（ブナ林、カエデ林）				（授業計画の続き） 3. 富士山の亜高山帯林（シラビソ林、コメツガ林） 4. 富士山の高山植物群落 5. 天城山の照葉樹林 6. 天城山のブナ林 7. 伊豆半島の温暖帯林 8. 中伊豆地域の帰化植物 9. 伊豆半島の海岸植生（ビャクシン林） 10. 沼津の千本松原 (4) 成績評価の方法 実習終了後のレポートで評価する。 (5) 履修上の注意 植物系統分類学、生態学などの授業を受けていることが望ましい。 (6) 質問、相談への対応 事前・事後の質問・相談は電子メールで受け付ける。 アドレス； tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp（徳岡）			
【教科書】テキストは実習初日に配布します 【参考書】大橋広好編，日本の野生植物，平凡社，2021，9784582535389などの植物図鑑類							